

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：八幡市

<p>重点目標</p>	<p>「自然と歴史文化が調和し 人が輝く やすらぎの生活都市 ～自立と協働による個性あふれるまちづくり～」</p> <p>八幡市の主要課題 人権を尊重しだれもが輝く地域づくり、これからの”八幡”を担う人づくりの推進 地域資源を活かしたまちづくりと新しい都市イメージの形成 みんなが安心して暮らせるまちづくりの推進 活力あふれる人がつどう交流のまちづくりの推進 健全な行財政運営と協働によるまちづくりの推進</p>		
<p>事業群</p>		<p>構成事業名</p>	
<p>次代を担う人づくりを進め、文化芸術を守り育てるまち ～子育て、教育、文化芸術振興～（事業群 b）</p>		<p>公園芝生化協働事業</p> <p>公共施設トイレ改良事業</p> <p>文化センター改良事業</p>	
<p>事業群全体による 成果の概要</p>	<p>○公園芝生化協働事業 芝生化により、子どもの環境に対する意識を高めるとともに、安全にスポーツを楽しむ環境を整え、スポーツを行う機会の増加と市民交流の促進を図れた。 また土埃を抑えることで、周辺の民家への被害を軽減することができた。</p> <p>○公共施設トイレ改良事業 公共施設のトイレを洋式化と美装により、公民館等を訪れることを敬遠していた人達の利用を促進した。 また、手すり設置、段差解消によるバリアフリー化で、より広い層の住民の利用が可能となった。</p> <p>○文化センター改良事業 施設整備により、市内外の人々の利用に際し、より安全で安心して文化活動を行う施設を維持することができ、今後の文化活動の発展に寄与した。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
<p>成果指標</p>		<p>実績値</p>	
<p>指標式等</p>			

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		公園芝生化協働事業				
事業の概要		ヒートアイランド対策及び緑化対策に加え、環境学習効果や地域のコミュニティを形成するために馬場市民公園で芝生化事業を実施した。				
		手押し芝刈機 2台	374,850円	屋外物置 1基	268,590円	
		乗用芝刈機 1台	672,735円	エアレーター(穴あけ機)	209,895円	
		サツキワセ(冬芝の種) 200Kg	172,200円	マサ土 2t×7台	80,850円	
事業期間		平成22年5月19日～平成23年3月28日				
総事業費		1,779千円	本年度事業費	1,779千円	交付金交付額	850千円
事業評価	事業の必要性	ヒートアイランド対策及び緑化対策に加え、環境学習効果や地域のコミュニティを形成する必要がある。				
	事業の有効性	芝生化により、子どもが安全にスポーツを楽しむことができる。また土埃を抑えることで、周辺の民家への被害を軽減することができる。				
	事業の効率性	芝生化された公園で子どもがスポーツを楽しみながら、同時に環境について学ぶことができる。また、芝刈機等により、芝生化された公園を長期的に維持することができ、安全にスポーツを楽しむ環境を提供できる。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果		芝生化により、子どもの環境に対する意識を高めるとともに、安全にスポーツを楽しむ環境を整え、スポーツを行う機会の増加と市民交流の促進を図れた。 また土埃を抑えることで、周辺の民家への被害を軽減することができた。				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		公共施設トイレ改修事業			
事業の概要		<p>男山児童センター、男山公民館、橋本公民館のトイレを和式便器から洋式便器へ更新し、足腰の弱い高齢者でも使用しやすくなった。また手すりの設置や段差を解消してバリアフリー化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ改修工事 ・トイレ美装改修(トイレブース取替、塗装改修等) ・小便器、手洗いの自動水洗化 ・衛生器具の取替(手洗い、洋式便器、小便器等) ・工事実施設計委託 ・工事監理業務委託 			
		事業期間	平成22年6月7日～平成23年2月28日		
		総事業費	36,750千円	本年度事業費	36,750千円
事業評価	事業の必要性	高齢者や障がいを持つ方でも気軽に使用できる公共施設を提供するためにトイレを改良する必要がある。			
	事業の有効性	トイレの整備は、様々な施設にとって、利便性の向上、利用者増につながり、重要である。今回の整備により、トイレの不便さにより公民館等に行くことを敬遠していた人達の来場の増加、また、施設そのものの印象の向上につながる事が期待できる。			
	事業の効率性	高齢者等が利用しやすい施設になるとともに、美装により誰もが使いやすい施設となった。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果 公共施設のトイレを洋式化と美装により、公民館等を訪れることを敬遠していた人達の利用を促進した。また、手すり設置、段差解消によるバリアフリー化で、より広い層の住民の利用が可能となった。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		文化センター改良事業				
事業の概要	<p>八幡市文化センターは1983(S58)年に開館以来、京都府南部の文化施設として市内外の文化活動の発展に寄与してきた。開館27年を経過し老朽化が進んでいるため、大ホール舞台機構及び舞台備品に不具合が生じる可能性が高く、その場合利用者に多大の悪影響を及ぼすものと考えられる。まちの文化を高め、市内の人々のふれあい交流及び創造性豊かな人づくりを推進していくために以下の整備を行った。</p> <p>大ホール舞台機構改修工事 舞台上の吊物に関連するVベルト、ギアオイル、滑車類、スイッチ類、ブレーキユニット等の更新を行った。</p> <p>文化センター屋上防水工事 老朽化により屋上(面積約5,100㎡)の劣化が進んでいるので、雨漏り等が発生する前に計画的な改修を行った。</p> <p>消防設備改修工事 消防設備点検において指摘のあった不良個所の改修を行った。 ・誘導灯 3台、・誘導灯用バッテリー 5台、 ・スプリンクラーヘッド 13個、屋内消火栓ホース 46本</p>					
	事業期間	平成22年6月24日～平成23年3月31日				
	総事業費	33,043千円	本年度事業費	33,043千円	交付金交付額	12,470千円
	事業の必要性	老朽化による不具合により施設が使用不可となると、音楽・演劇・舞踏等の観賞、工芸品等の展示といった市民の文化活動の機会を著しく損ねることとなるため、そのような事が起こらないように施設を計画的に改修する必要がある。				
事業評価	事業の有効性	市民が文化活動を行う場を継続して提供することができる。				
	事業の効率性	施設の計画的な改修により、トラブルを事前に防止するとともに、雨漏りによる腐食を防ぎ、施設の長寿命化につながった。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		3 リーディング・モデル成果				
		4 広域的波及成果				
5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果 施設整備により、市内の人々の利用に際し、より安全で安心して文化活動を行う施設を維持することができ、今後の文化活動の発展に寄与した。						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。